

令和4年度

海外の事例から学ぶ都市政策

～都市の風格とアイデンティティはどのようにつくるのか～

人口が減少する中、その街に住む人が愛着心を持ち、外の人からも関心を持ってもらうには、魅力的な都市づくりが必要です。海外では、それぞれの歴史・文化の保存、自然の再生等により、その地域の風格とアイデンティティを高めていくことで、存在感のあるまちとなっている事例が多く見られます。この研修では、海外事例の考え方や方策を参考に、公共空間の活用や住民とまちとの関わり方なども含め、新たな切り口から中長期的な視点で考えます。

研修の ねらい

- 都市への愛着や居心地の良さについて学ぶ
- 海外のまちづくり（都市政策）の事例を学ぶ
- 事例から学んだことを自分の自治体の施策にどう活かせるか検討する

開催要領

日 程

令和4年10月12日(水)～10月14日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

まちづくり、都市計画、コミュニティ振興等の業務に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年8月26日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年

10月
12日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 魅力ある都市空間のデザイン

福岡大学工学部 教授 柴田 久 氏

魅力ある都市空間のデザインについて、その特徴とまちづくりの基本的な考え方を、国外の事例や、国内で柴田氏が手掛けた公共空間の再生などの事例を交えてご講義いただきます。

15:50~17:00

事例紹介① プラハのまちづくり~風格と魅力~〈オンライン〉

ドイツ・アーヘン工科大学建築学部 准教授 ヤン・ポリーフカ 氏

東ヨーロッパ有数の国際都市である、チェコ共和国の首都プラハ。歴史的建造物が建ち並び、「百塔の街」と称されるそのまちの風格と魅力は、どのような都市政策のもとで形成され、守られてきたのか。その概要と、現在のプラハの状況についてご講義いただきます。

18:00~

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:50

講義 愛着を持てる居場所をつくる「プレイスメイキング」

有限会社ハートビートプラン 取締役 園田 聡 氏

単なる「SPACE(スペース)」ではなく人々の居場所である「PLACE(プレイス)」をいかに作っていくか、そのプロセスやデザインについてご講義いただきます。

11:00~12:10

事例紹介② ライプツィヒに学ぶ空き家と空き地のつかいかた

ライプツィヒ「日本の家」共同創設者・尾道「迷宮堂」共同創設者/福山市立大学 専任講師

大谷 悠 氏

東西ドイツの統一後、多くの空き家が生じた旧東ドイツの都市ライプツィヒ。政策により取り壊しと空き地化が進む中で、住民を中心とする団体が空き家・空き地の保全と活用に取り組んだ結果、行政も協働を目指す方針に転換しました。ライプツィヒの空き家を利用しコミュニティスペース「日本の家」を立ち上げた大谷氏に、その活動経験と現在尾道で取り組む活動を交えながら、「空き家・空き地」=「都市の〈隙間〉」を活用したまちづくりについてご講義いただきます。

13:10~14:20

講義 海外の事例から学ぶ都市政策

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

パブリックスペースの活用、オーセンシティの創出など、新たな切り口から、都市の風格とアイデンティティはどのように作っていくのか、海外事例をもとにまちづくりのあり方について考えます。

14:35~17:10

演習 海外の事例から学ぶ都市政策

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

ここまでの講義や事例紹介をふまえ、各自自治体の都市政策にどのように活かすことができるか、個人ワークやグループ討議を行います。

9:25~12:00

演習 海外の事例から学ぶ都市政策

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただき、まちづくりについてさらに考えを深めます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和4年

10月
13日(木)

令和4年

10月
14日(金)

講師紹介

龍谷大学政策学部 教授 服部 圭郎 氏

東京大学工学部卒業、カリフォルニア大学環境デザイン学部で修士号取得。民間シンクタンク勤務、明治学院大学経済学部教授を経て、現職。専門は都市計画、地域研究、コミュニティ・デザイン、フィールドスタディ。主な著書に『若者のためのまちづくり』『人間都市クリチバ』『衰退を克服したアメリカ中小都市のまちづくり』『ドイツ・縮小時代の都市デザイン』など。技術士(都市・地方計画)、博士(総合政策学)。平成30年度海外研修「人口減少時代における自治体政策~働き方・福祉を中心に~(国内+海外)」(オランダ・ドイツ)、令和元年度海外研修「持続可能なまちづくり(国内+海外)」(ドイツ・スイス)指導講師。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。